

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **07319389 A**

(43) Date of publication of application: **08 . 12 . 95**

(51) Int. Cl

G09F 3/10
G09F 3/02

(21) Application number: **06107281**

(71) Applicant: **SONY CORP**

(22) Date of filing: **20 . 05 . 94**

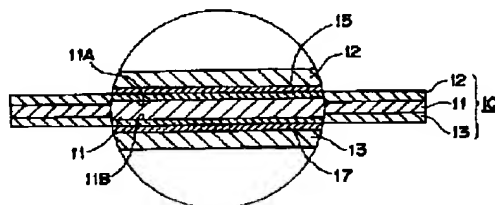
(72) Inventor: **SEKI SEIZO**

(54) **LABEL**

(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain a label which can properly be used according to different purposes.

CONSTITUTION: This label consists of a separator 11 with label supporting layers 11A and 11B formed on the front and rear sides by coating with silicone resin and 1st and 2nd labels 12 and 13 laminated in a freely peelable state on the front and rear sides of the separator 11 by bonding to the label supporting layers 11A and 11B through pressure-sensitive adhesive layers 15 and 17 formed on the rear sides of the labels 12 and 13. The 1st label 12 is made of paper having satisfactory suitability to writing. The 2nd label 13 is made of paper having satisfactory printability and characters, a mark, etc., are printed on the 2nd label 13.



COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-319389

(43)公開日 平成7年(1995)12月8日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 3/10	C			
3/02	E			

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平6-107281

(22)出願日 平成6年(1994)5月20日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 関 誠三

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

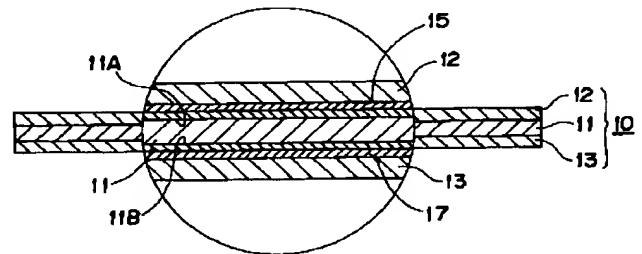
(74)代理人 弁理士 小池 晃 (外2名)

(54)【発明の名称】 ラベル体

(57)【要約】

【目的】 異なる目的に応じて使い分けを可能とするラベル体を提供する。

【構成】 表裏面にシリコン系樹脂等をコーティングしてラベル支持層11A、11Bを形成したセパレータ11と、裏面に形成された感圧型接着剤層15、17を介してラベル支持層11A、11Bそれぞれに接合されることによってセパレータ11の表裏面に剥離自在に積層された紙質を異にする第1及び第2のラベル12、13とから構成される。第1のラベル12は、筆記特性の良い紙質で形成され、第2のラベル13は印刷特性の用紙で形成される。第2のラベル13には、キャラクター16等が印刷される。



実施例ラベル体の縦断面図

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表裏面にシリコン系樹脂等をコーティングしてラベル支持層が形成されたセパレータと、裏面に感圧型接着剤層が形成され、この感圧型接着剤層を介してラベル支持層に接合することによりセパレータの表裏面にそれぞれ剥離自在に積層された第 1 及び第 2 のラベルとから構成され、これら第 1 のラベルと第 2 のラベルとは、紙質を異にして形成されたことを特徴とするラベル体。

【請求項 2】 第 1 のラベルは筆記特性の良い紙質で形成されるとともに、第 2 のラベルは印刷特性の良い紙質で形成されたことを特徴とする請求項 1 記載のラベル体。

【請求項 3】 第 2 のラベルには、キャラクターマーク等が印刷されていることを特徴とする請求項 2 記載のラベル体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、ラベル支持層が形成されたセパレータにラベルを剥離自在に積層状態で接合し、情報記録媒体を収納した記録媒体収納カートリッジ等に添付されるラベル体に適用して好適なラベル体に関する。

【0002】

【従来の技術】 情報信号が記録されていない、いわゆる生テープカートリッジ或いはディスクカートリッジ等の情報記録媒体を収納した記録媒体収納カートリッジにおいては、一般に、ラベル支持層が形成されたセパレータにラベルが剥離自在に接合されたラベル体が添付品として添付されている。このラベル体は、使用者が、情報記録装置によって記録媒体に音楽等を録音した場合に、記録媒体収納カートリッジに貼着して記録内容を記載表示するために用いられる。

【0003】 すなわち、テープカートリッジ 1 は、図 3 に示すように、カートリッジハーフの主面の一部にラベル貼着領域 2 が設けられており、添付品として添付されたラベル体 3 の台紙から剥離された後述するラベル 4 が貼着される。ラベル体 3 は、図 4 及び図 5 に示すように、セパレータ 5 と、一方の主面に剥離自在に接合された複数のラベル 4 とから構成されている。セパレータ 5 は、ラベル 4 が積層状態で接合される主面にシリコン系樹脂等をコーティングしてラベル支持層 5 A が形成されている。

【0004】 ラベル 4 は、筆記特性が良好な紙質を台紙素材として、表面 4 A 側には切抜き線によってラベル貼着領域 2 とほぼ等しい外形に区割りされた複数の記述ラベルが設けられている。また、このラベル 4 は、裏面 4 B 側に接着剤層が形成されている。そして、ラベル 4 は、接着剤層 4 B を介してラベル支持層 5 A 上に接合されることによって、セパレータ 5 に剥離自在に積層され

ている。

【0005】 上述したラベル 4 の裏面に形成される接着剤層 4 B は、一般にゴム、アクリルポリマー等の感圧型（粘着型）接着剤を塗布することによって形成される。この感圧型接着剤は、無溶剤で圧力を付加することによって、接着剤の流動が生じて接着対象体に瞬間的に接着する接着剤である。一方、セパレータ 5 には、シリコン系樹脂等をコーティングしたラベル支持層 5 A 上に、感圧型接着剤層 4 B を介してラベル 4 が接合される。この場合、ラベル 4 は、セパレータ 5 にコーティングしたシリコン系樹脂層によって接着剤の浸潤が阻止されてアンカー効果が奏せられない等の現象で、セパレータ 5 に対して剥離自在とされる。

【0006】 ところで、鉛筆、水性ペン、油性ペン、万年筆或いはボールペン等の筆記具による用紙への筆記の原理は、筆記具が用紙に押し付けられた際に、インク等が用紙を構成する微細な繊維空間内に、適当量、素早く浸透していくことによる。したがって、紙の筆記特性は、脱脂処理或いは表面処理が施されておらず、極く微細な繊維空間が保持された紙質である上質紙が良好である。

【0007】 これに対して、表面処理が施こされたコート紙系の用紙は、コーティング剤層によって繊維空間へのインクの浸透が阻止されるため、筆記特性が低くなる反面、シャープな線を形成することができることから、もっぱら印刷用の用紙として用いられている。

【0008】 テープカートリッジ 1 には、テープレコーダに装填して音楽等の録音が行われると、添付されたラベル体 3 のセパレータ 5 からラベル 4 が剥離されて、ラベル貼着領域 2 に貼着される。そして、貼着されたラベル 4 には、筆記具によって、例えば歌手名、曲名等の録音内容が記載される。このため、従来のテープカートリッジ 1 に添付されるラベル体 3 は、上述したように、もっぱら録音内容等を記載して表示するために用いられるため、ラベル 4 の紙素材としては筆記特性のよい上質紙が用いられる。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、テープカートリッジにおいては、通常の商品として販売されるテープカートリッジばかりでなく、特定キャンペーン用の特別商品であるテープカートリッジも提供されることがある。キャンペーンの内容を表示する絵柄やシンボルマーク等は、商品構成上、極めて重要なキャラクタであって、キャンペーンイメージを損なうことなく、仕上りの良い印刷精度を以って、キャンペーン用テープカートリッジに形成されなければならない。

【0010】 テープカートリッジ 1 に添付されるラベル体 3 は、上述したようにもっぱら筆記用として用いられるため、上質紙を素材に形成される。しかしながら、かかる上質紙は、印刷されたキャンペーン表示絵柄或いは

シンボルマーク等の周囲が滲むような状態となって、比較的仕上がり状態が良くないといった問題がある。したがって、キャンペーン表示絵柄或いはシンボルマーク等を高精度に印刷形成する場合には、印刷に適したコート紙が用いられることになる。しかしながら、かかるコート紙は、例えば鉛筆等での筆記が困難であり、また水性ペンでもインクがはじかれて書くことができないといった問題点がある。さらに、このコート紙では、油性ペンでもインクがなかなか乾かないといった問題がある。

【0011】したがって、テープカートリッジ1に添付されるラベル体3は、キャンペーン表示絵柄或いはシンボルマーク等が形成される場合には、印刷特性を優先して筆記用のラベル体を犠牲にしなければならないといった問題があった。また、この筆記用のラベル体を犠牲にすることができない場合には、キャンペーン表示絵柄或いはシンボルマーク等は、特別に筆記が行われない収納ケース或いはケース用ラベルといった他の部材に印刷して提供することになるが、製造工程の変更等が必要となるばかりか、販促効果が期待されなくなるといった問題があった。

【0012】また、上述したキャンペーン用品においては、キャンペーン表示絵柄或いはシンボルマーク等をラベルとして構成して提供することにより、購入者がテープカートリッジやその他の持ち物に貼着して使用し得るようにすることが多い。このため、テープカートリッジには、使用説明書やラベル体の他に、このようなラベルも添付されることになり、添付品が多くなって商品の包装仕様、工程等を変更しなければならないといった問題もあった。

【0013】したがって、本発明は、情報記録媒体を収納した記録媒体収納カートリッジ等に添付されるラベル体に用いた場合等において、筆記用と印刷用との異なる目的にそれぞれ使い分けを可能としたラベル体を提供することを目的に提案されたものである。

【0014】

【課題を解決するための手段】この目的を達成した本発明に係るラベル体は、表裏面にシリコン系樹脂等をコーティングしてラベル支持層が形成されたセパレータと、裏面に感圧型接着剤層が形成され、この感圧型接着剤層を介してラベル支持層に接合することによりセパレータの表裏面に剥離自在に積層された第1のラベル及び第2のラベルとから構成される。そして、これら第1のラベルと第2のラベルとは、紙質を異にしてそれぞれ形成される。

【0015】また、本発明に係るラベル体は、第1のラベルは筆記特性の良い紙質で形成されるとともに、第2のラベルは印刷特性の良い紙質で形成される。さらに、第2のラベルには、キャラクターマーク等が印刷されて構成される。

【0016】

【作用】以上のように構成された本発明に係るラベル体によれば、セパレータの表裏面に紙質を異にした第1のラベルと第2のラベルとを剥離自在に接合したことにより、仕様目的に応じてこれらラベルの使い分けが可能となる。したがって、例えばキャンペーン商品、キャラクター商品等のように、高精度に印刷された絵柄、マーク等のラベルを添付品として必要な商品においても、通常商品に添付されたラベル体を利用してその対応が可能となり、包装仕様、工程までの変更が不要となる。

10 【0017】

【実施例】以下、本発明の具体的な実施例を図面を参照して詳細に説明する。図1及び図2に示した実施例ラベル体10も、情報信号が記録されていない、いわゆる生テープが収納されたテープカートリッジ1の添付品として、テープカートリッジ1とともにカートリッジケースに収納されて添付されるラベル体である。このラベル体10は、全体の形状がテープカートリッジ1の外形形状と等しく形成されている。ラベル体10は、セパレータ11と、このセパレータ11の表裏面にそれぞれ剥離自在に接合された筆記用ラベル体12及びキャラクターラベル体13とから構成されている。

【0018】セパレータ11は、その表裏面にそれぞれシリコン系樹脂等をコーティングすることによってラベル支持層11A、11Bが形成されている。これらラベル支持層11A、11Bは、セパレータ11の表裏面に形成される以外、上述した従来のラベル体3のセパレータ5の主面に形成されたラベル支持層5Aと同様であり、その説明は省略する。

【0019】筆記用ラベル体12は、筆記特性が良好な紙質である上質紙を台紙素材とし、従来のラベル体3のラベル4と同様に、テープカートリッジ1のラベル貼着部2に貼着される複数の筆記用ラベル14が切抜き線によって切り離し自在に設けられている。また、筆記用ラベル体12は、その裏面に接着剤層15が形成されている。これら筆記用ラベル14は、磁気テープに記録された情報の内容を記載表示するために、筆記用ラベル体12から切り抜かれてテープカートリッジ1のラベル貼着領域2に貼着される。

【0020】筆記用ラベル体12の裏面に形成される接着剤層15は、一般に台紙である上質紙にゴム、アクリルポリマー等の感圧型接着剤を塗布することによって形成される。上述したように、この感圧型接着剤は、無溶剤で圧力を付加することによって、接着剤の流動が生じて接着対象体に瞬間的に接合する接着剤である。したがって、筆記用ラベル体12は、接着剤層15を介してセパレータ11の一方のラベル支持層11Aに接合される。

【0021】ラベル支持層11Aは、シリコン系樹脂等がコーティングされることにより、筆記用ラベル体12の感圧型接着剤のセパレータ基材部への浸潤を阻止して

アンカー効果が奏せられないようにする。これによって、筆記用ラベル体12は、セパレータ11のラベル体支持層11Aに対して剥離自在に支持される。

【0022】筆記用ラベル14は、テープカートリッジ1がテープレコーダに装填されて音楽等の録音を行った後、筆記用ラベル体12から切り抜かれて、テープカートリッジ1のラベル貼着領域2に貼着される。筆記用ラベル体12を構成する台紙は、上質紙で形成されているため、この台紙から切り離された筆記用ラベル14には、鉛筆、水性ペン、油性ペン、万年筆或いはボールペン等の筆記具によって、磁気テープに記録された情報等の内容、例えば歌手名、曲名等の録音内容が記載される。筆記具のインク等は、筆記用ラベル14を構成する上質紙の微細な紙繊維空間内に、適当量、素早く浸透していくことにより、良好な状態で記載が可能とされる。

【0023】キャラクタラベル体13は、台紙がコート紙或いは透明なフィルム材を素材とし、表面13A側にはキャンペーン等のシンボル用ラベル等のキャラクタラベル16が印刷形成されるとともに裏面には接着剤層17が形成されている。キャラクタラベル体13の台紙を構成するコート紙は、表面にコーティング処理を施した用紙であって、コーティング層によってインク等が紙繊維空間内に浸潤しにくいといった特性を有している。同様に、キャラクタラベル体13の台紙がフィルム材である場合にも、このフィルム繊維層の内部にはインク等が浸潤されないため、筆記が困難であるといった特性を有している。

【0024】換言すれば、コート紙或いはフィルム材は、印刷インクが繊維空間内に浸潤され難いため、印刷製版のシャープな印刷線を台紙上にそのまま形成することができる印刷特性が良好な用紙である。したがって、キャラクタラベル体13には、キャンペーンイメージを損うことの無い高精度のキャラクタラベル16が印刷形成することができる。

【0025】キャラクタラベル16は、切抜き線によってキャラクタラベル体13を構成する台紙から切り抜かれ、接着剤層17を介してカートリッジケースや持ち物等の適宜の箇所に貼着される。このキャラクタラベル体13の接着剤層17もまた、筆記用ラベル体12の接着剤層15と同様に、台紙であるコート紙或いはフィルム材にゴム、アクリルポリマー等の感圧型接着剤を塗布することによって形成される。したがって、キャラクタラベル体13は、感圧型接着剤層17を介してセパレータ11の他方のラベル支持層11Bに剥離自在に支持される。

【0026】以上のように構成されたラベル体10は、テープカートリッジ1とともに、カートリッジケース内に収納される。ラベル体10は、セパレータ11の表裏面に仕様を異にした筆記用ラベル体12及びキャラクタ

ラベル体13とが接合されたキャンペーン用の特殊仕様品ではあるが、ラベル体挿入工程を増やすことなく、通常のテープカートリッジと同一の製造工程によってカートリッジケースへの挿入が行われる。

【0027】カートリッジケースから取り出されたラベル体10は、テープカートリッジ1がテープレコーダに装填されて音楽等の録音が行われると、筆記用ラベル体12から切抜き線を介して筆記用ラベル14が剥離されて、テープカートリッジ1のラベル貼着領域2に貼着される。そして、貼着された筆記用ラベル14には、筆記具によって、例えば歌手名、曲名等の録音された内容が記載表示される。上述したように、筆記用ラベル体12は、筆記特性の良い上質紙によって形成されているため、録音内容等を良好に記載することができる。

【0028】一方、ラベル体10のキャラクタラベル13からは、切抜き線を介してキャラクタラベル16が剥離される。キャラクタラベル16は、例えばカートリッジケースの表面或いは使用者の持ち物等に貼着されて用いられる。

【0029】なお、上述した実施例ラベル体10は、テープカートリッジ1に添付されて、記録内容等を表示するためテープカートリッジ1のラベル貼着部2に貼着されるラベル体を示したが、例えば光ディスク等の円盤状記録媒体を収納したディスクカートリッジ等に添付されるラベル体であっても良い。また、ラベル体10は、表裏面に筆記用ラベル14とキャラクタラベル16とを接合したが、キャラクタラベル16については、記録媒体に記録された内容をイメージするラベル等が印刷形成したものであっても良いことは勿論である。

【0030】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明に係るラベル体によれば、セパレータの表裏面に紙質を異にした第1のラベルと第2のラベルとを接合して構成したものであるから、例えば印刷用ラベルと筆記用ラベルとを必要とする場合においても、いずれか一方を犠牲にすることは無く、別々に形成したこれら2種類のラベルをそれぞれケース内に収納する工程を必要とせず、従来工程によって対応することができる。

【0031】したがって、限定ロット数で生産されかつキャンペーンイメージのキャラクタラベル等が添付される商品に本発明に係るラベル体を適用した場合には、筆記用ラベルには、従来仕様のラベル体と同様に筆記具によって自由な記録を行うことができ、一方印刷用ラベルには、キャンペーンキャラクタ等がイメージを損なうことなく極めて高精度に印刷形成することができるため、販促効果の一層の向上が図られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るラベル体の実施例として示したテープカートリッジに添付されるラベル体であって、一部を拡大して示した縦断面図である。

7

8

【図2】同ラベル体の分解斜視図である。

【図3】テープカートリッジとそのラベル貼着部に貼着される筆記用ラベルとを示した分解斜視図である。

【図4】従来のラベル体を示す斜視図である。

【図5】同ラベル体の縦断面図である。

【符号の説明】

10 ラベル体

* 11 セパレータ

12 筆記用ラベル体

13 キャラクタラベル体（印刷用ラベル体）

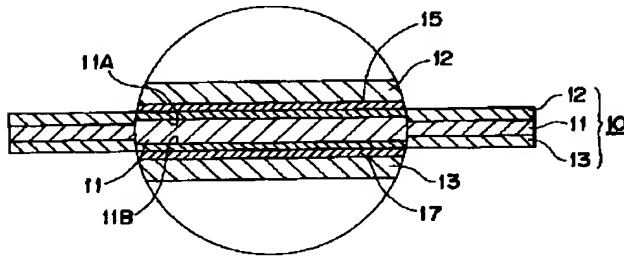
14 筆記用ラベル

15 接着剤層

16 キャラクタラベル

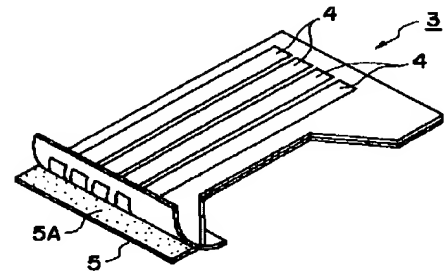
* 17 接着剤層

【図1】



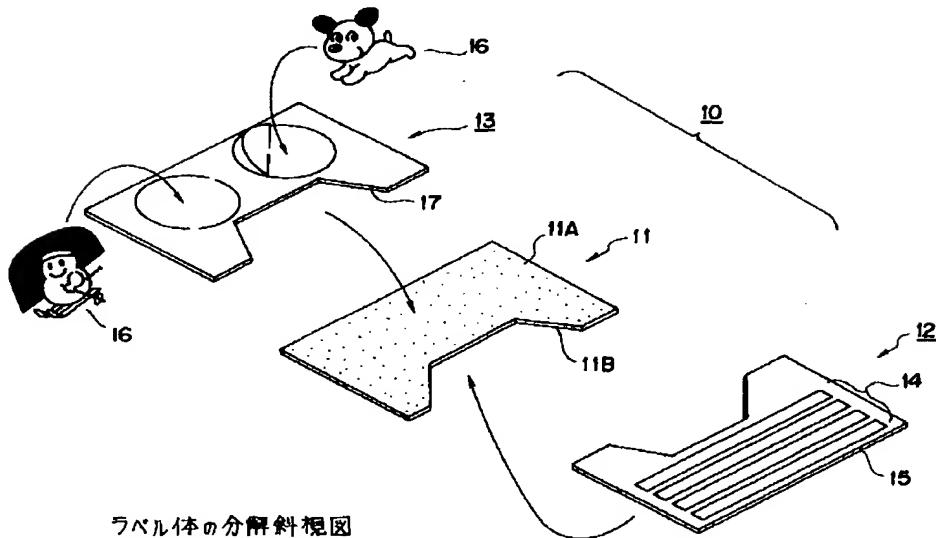
実施例ラベル体の縦断面図

【図4】



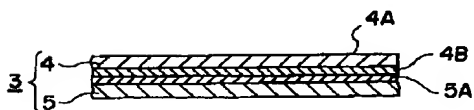
従来のラベル体の斜視図

【図2】



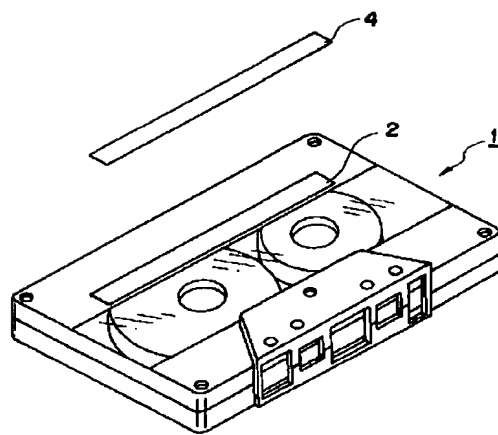
ラベル体の分解斜視図

【図5】



従来のラベル体の縦断面図

【図 3】



テープカートリッジとラベル体の斜視図